

**【人間の免疫は「どのように」
ウイルスを殺してくれるのか？】**

を知って考える！

(メルマガ2020年2月2日号です)

⇒編集後記で！

どうもゆうです！

こんばんは！

さてさて、私は現在韓国にいますが

いや～すごいですね。

あの新型のコロナウイルスに対しての人々の反応・・・

ちなみにメルマガでこう色々私が知ってる事前知識とかも

あるのであまりこの件はマスコミに乗らせているようで

書きたくなかったのですが

ただ・・・まあ韓国なんかにいるとすごくて

昨日電車に乗ったらもう ソウルの地下鉄で私が乗った車両だと

60%はマスクしていて、

そんで私が外でぽけーってしてたら

韓国の通りすがりの女の子が「マスクしないの」と言うわけです。

(日本だと知らない人に話す文化ないけど

韓国だと男も女も普通に知らない人に異性でも話しかける文化ある)

日本の実情がどうなのか、私は実はあまり知らないのですが

ただやっぱり韓国もテレビと新聞と、あとはスマホに緊急速報まで

飛ばしてくるものだから、

みんなコロナ コロナ言ってるわけです。

けど私が見てるのは本当はマスクを販売しまくってる

転売ヤ〜が大もうけしてるどころとか、

マスク関連銘柄が世界的に上がってきてるとかなんですが

いっつもマネーの話ばかりでごめんなさい、ですが

やっぱり彼らの勝ちなんだと思う。

それで、今日はせっかくなので

【人間の免疫は「どのように」ウイルスを殺してくれるのか？】

をガチに考えて生きたいと思います。

というのは私は一応、この大騒ぎの中で、一応ニュースなど

目は軽く通すけど

「なぜに 彼ら自称専門家は免疫学について知らないのか」

といつも思うわけです。

ちなみに、私ゆうは、アレルギーを子供の頃から持っていて

医者には**「一生それと付き合っただけで薬飲んでいけ。アレルギーは治りません」**

といわれてたんだけど

そこで「どうも日本の医療はおかしい。薬漬けにしたがってる」と気づいて

必死に免疫学をこれ数百時間（というか1日数時間読みまくって
それを何年もやったから1000時間は越える）

は独学で論文読みまくったわけです。

それで分かったことがあり、

医者に私が日本語とかあとは英語とかだけど

読んだ論文の内容で免疫学に基づくアプローチを聞いたら

「医者って知らない」のですね。

例えばアレルギーって IGE ってのがあるんだけど

これが使い果たされると後天的自然免疫寛容ってのが起こるんだけど

これも医者って知らないんですよ。

これ私は当時衝撃を受けて

「医者って世間では頭良いキャラ演じてるけど

実際はあんまり頭良くない人がほとんどだ」

と気づいてしまったのだけど

例えば、免疫機構の動態を知る上で重要な

NK キラー細胞とかありますがその動態とかを

把握してないわけで、

そんな人たちが治療に当たってるのが日本なんです。

それで日本人や、あとは韓国人なんかもそうなんだけど

かなり多くの方が「コロナウイルスもインフルエンザウイルスも薬が治すと

勘違い」してるんだけど

実のところ現代の医学や薬ってのはこれそれらを治すことはできなくて

あくまでも「病気を治すのは人間の長い歴史で
培われた遺伝子（免疫機構）」なわけですね。

これって日本の医者も免疫学を謎に学ばないで免許とれちゃう

みたいだけど

お医者さんにこれ教えてあげると

「じゃあ私はいらないじゃないか」

と激怒する人もいるわけです。

要するに「風邪（感冒）とかインフルエンザを治すのは現代人は

薬が治すと勘違いしてるけど、

実際は風邪も病気も全部それを治してくれるのは免疫細胞」

なんですね～

それで、私なんかはこういうことを昔何百時間というか

何千時間かかもしれませんが

勉強して、今は医者が出せないといった

アレルギーとかもほぼ消失して薬も飲まず

そんで海外に暮らしてるけど

やはり私たち日本人は、製薬会社や医師会やら

製薬会社と癒着する官僚たちに「健康搾取」されないように

こういう免疫の知識も持ったほうがよいだろうと

思いました。

今読んでる読者さんが今号で書く知識は

自分の体がどう治るか？って言う話だから関係がある話ですよ。

ちなみにこれこそ

「一切保障されるとする」

憲法 21 条言論表現の自由の醍醐味でもある。

それで今日はズバリ

【人間の免疫は「どのように」ウイルスを殺してくれるのか？】

を知って考える！

としましたが、ガチで、細胞、遺伝子レベルの話まで

掘り下げて、分からなくても大体イメージが分かるくらいでいいから

コロナの件で言い方あれですが

せつかくの良い機会ですから

考えましょう！

編集後記で！

実はこれがバフェット投資で言う、
「消費者独占企業」の特徴です。

こういう事例からリアルに投資を学んでいきます。

PDFレポート

【ディズニーランドの入場券が大人8200円に値上げ！？】

から「消費者独占企業」について考え学ぶ！！

⇒ http://fxgod.net/pdf/dizni_dokusen.pdf

【解説】

日本で以前にユッケを、店頭で出すことがほぼ禁止されました。

日本の支配者である官僚たちの天下り先を作るために

大きく報道され規制されたという視点もある。

けど、私が今いる韓国ではユッケは食べ放題の店があつて

なんとお値段1890円くらいでした。

日本で禁止されたユッケが食べられてなおかつ

食べ放題な店ですが

サーモン食べ放題の店でもあるけど

韓国にいるととにかく韓国の20～30代に大人気で

いつも並んでます。

(写真付き PDF ファイル)

【韓国では「ユッケ食べ放題」の店がある！？】(若者に常に人気な店)

⇒ http://fxgod.net/pdf/yukke_korea.pdf

【解説】実は最近流したメルマガでめっちゃ反響があったのが
この号でした。

私も驚いたんだけど韓国のカフェで PC 広げると

「めっちゃ大きいディスプレイで17インチはあるのに
やたら板のように薄いPC」

を使ってる人がいる。

調べてみたらこのPDFに書いてあるPCでした。
もう2020年代は17インチある大型パソコンが
1.3キロで20時間稼動で使える時代で

しかも乱暴に扱っても耐久性が高いようです。
最近どんどん個人が PC で仕事しやすくなってる。

PDF レポート【17 インチで重さたった 1.3 キロで 20 時間近く稼働する
パソコンがアジアの若者に人気！？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/lg_gram_yabai.pdf

【解説】

「稼げるようになったら
個人事業主なのか株式会社設立なのか問題」

ってのは「どっちが正解というのはなくて」
もちろん、「その人による」、んですが

ただ最近、特に若い IT 業界とか投資系の業界では

「元々株式会社の形態で社長やっていたけど
会社たたんで個人になる」

みたいな動きが私の周りでは特にすごい増えてます。

今日はその辺は正解はなくてその人次第ではあるんだけど

稼げるようになったら

個人事業主にするのか株式会社にするのか？について

詳しく考えていきます！

(コラム PDF)

【稼げるようになったら「個人事業主」か「株式会社設立」
どっちがいいのか！？】

⇒ <http://fxgod.net/pdf/kojin.pdf>

【解説】プーチンが

「国連安保理5カ国P5の
アメリカとイギリスとフランスと
中国とロシアで 首脳会談しようぜ！」

って言いました。

日本ではマスコミがちゃんと伝えたがらないため
その本質的な意味が分からない人も
多いのですが

これ実現したら実は「新ヤルタ会談」になるんです。

「後世の歴史の教科書に残るある種の
歴史的な会談」

になるんですね～

その辺について書きました！

PDFレポート【プーチン大統領が国連5カ国
(アメリカ、イギリス、フランス、中国、ロシア)の
首脳会談を提案したことについて考える!】

⇒ http://fxgod.net/pdf/putin_p5.pdf

【解説】 1月は色々ありましたが
その中で「米中貿易協定」なんかは注目されまして
一応、好材料として扱われました。

が、実際その後の株高なんかは実際は
実質QE4のものであって

またトランプ大統領はいつでも
「米中貿易戦争を再開できるように」してる感じがあります。

トランプ大統領が軍産側に気遣って行ったものなので
マスコミは持ち上げますが

実態は

「かなり怪しい米中貿易協定」ですが
その辺について扱ってます～

PDFレポート【「米中貿易協定の怪しさ」について考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/beityu_kyoutei.pdf

【解説】 アメリカのトレーダーたちの中で
使われてる トレードなどで使われる有効な負けづらい
プライスアクションのシナリオについてです。

トレードの話です。

サポレジを使ったものですが
騙しのひげなどを考慮するシナリオで
勝率が高く+リスクリワードは高いものです。

出現比率は少ないものの、検証すると良いかも

PDFレポート♪

(画像付き) 【アメリカのトレーダーが最近よく使ってる
プライスアクションの戦略とは! ?】

(サポレジ転換後⇒ピンバー)

⇒ http://fxgod.net/pdf/us_priceaction.pdf

【解説】 韓国にいと分かるのが
「スピード」を重視する人が大変多いということです。

そこで「早く早く文化」というものが形成されています。
今の時代「早い⇒お金持ち」になる傾向が強まっています。

そしてこのスピードにブルーオーシャンをあわせると
最強だったりしますが

それについて書いてます

PDF★コラム☆【競争が少ないブルーオーシャンを取るための
「スピード感」】

⇒ <http://fxgod.net/pdf/speed.pdf>

【解説】 以下は私が現在韓国にいるんだけど
そこで分かった「日韓の埋められない？違い」についてです！

私は収入が増えようと出費はリーマン時代の貧しいときと
あんまり変えないというのを
10年間続けてるためハングリー精神は常に維持してます。

そして普段は公共交通機関が充実してる
韓国では電車バスで移動してわけですが
そこで面白いのが 韓国の公共バスは 遅いベンツを煽り倒す
のです。

日本では考えられない光景だ。
けどこの後ろには「スピード重視」の哲学があって
それがきっと この数十年の韓国の躍進の背後にあるって話です。

「スピード」について真剣に考えましょう。

PDFレポート

【韓国の公共バスはベンツを煽り、
クラクションを30回以上鳴らす時がある！？】

(スピード重視)

⇒ http://fxgod.net/pdf/korea_bus.pdf

【解説】 以下はFX関係で利益出ない方は読んだほうが良いかも。

たぶん成績劇的に改善するかも。

これをやっていない人はお金ない人多いし、
これをやってる人はお金ある人が多いのはこれ冷酷な世の中の事実、
です。

それでなぜそれをみんなやらないか？

というとマネーが絡むから。

逆にその辺に気づくと、負けない体質に変わって行きます。

PDFレポート【FXや株で「〇〇の時間」を長くすると利益でる】

(負けが超減る)

⇒ http://fxgod.net/pdf/forex_bunseki.pdf

【解説】 以下は損きりできない人のためのもの。
また損きりもトレードと投資では考え方が違うっていう
みんな知らない話書いてます。

ちなみに大多数のトレーダーというのは
損きりができません。

なんででしょう？

が、一方「損きりが早すぎる人」も存在します。
が、トレンドが出たときなんだかんだ後者の人は
儲けている。

それでこの「違い」は何か？を説明してます。
私が自分で気づいたオリジナルではなくて
友人の億トレーダーが喫煙所で教えてくれた内容だけど

素晴らしい本質かも。

PDFレポート

【「プライド高い人」はFXや株トレードで
「損きりできない傾向」がある！？】

(絶対価値の金融商品と相対価値の金融商品の話)

⇒ http://fxgod.net/pdf/anti_pride.pdf

【解説】 以下は私がいる韓国でロボットが発展しすぎて
ハンバーガー屋の注文取るカウンターの仕事が消滅しつつある
2020年の現状をレポートしました。

私たちが生き残るためには？の私が発見した答えを書きました。

「機械やAIで人間の仕事はなくなる～」のは一部事実だろうけど
実は・・・生き残り方なんか 頭使えばいくらでもあるわけです。

むしろ機械やAIを配下におくのが大事ですね。

写真付き PDF レポート

【韓国のバーガーキングでは「店員のおねえちゃん」が

「カウンターの機械化」で

消えてきている！？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/korea_robot.pdf

【解説】 以下はイラン爆撃時にチャートで

「おかしい動き」が NY ダウや金ゴールドチャートで見えました。

この背後について考えます。2019 年 9 月以降の銀行間市場 OMO を使った、

FRB パウエル議長にトランプ大統領がさせてる

実質の QE4 の仕掛けの動きが観察されます

PDFレポート

【イラン爆撃で「おかしい動きをした NY ダウと金ゴールド」
の裏のマネーの動き、について考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/iran_nydow_gold.pdf

【解説】 大きなファンダメンタルを見て、私たちが世界の株式市場などで
企業に資金投下して利益上げる場合

その国の素晴らしい人口動態を示す人口ピラミッドや、

また政治経済において

近代デモクラシーとそれに付随する資本主義が回ってないと

どんなに素晴らしい経営者が経営していても

利益が上がりづらいです。

それでその視点で日本の政治体制は近代デモクラシーや資本主義を

導入できてるか？

をカルロスゴーン事件を元に考えます。

この視点だと日本市場は長期的な利益率が低くなる傾向が見えてきますが
その根拠が分かります

PDFレポート【副島先生の最新言論から
「世界に注目されるカルロスゴーン」
について考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/soejima_carlos.pdf

【解説】アメリカの大金持ちたちの資金動向を学びます。

なぜアメリカ人の情報を得てる大金持ちたちが
100ドル札や金ゴールドを備蓄するのか？

テレビ新聞では報じられないアメリカの大金持ちたちの
生の経済観を考えます。

PDFレポート

【最近アメリカの大金持ちたちは
100ドル札と金を備蓄しだしてる！？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/us_rich_100dollar.pdf

【解説】 韓国のインチョン空港では最近色々な芸術活動をする
ライブ会場が用意されていて楽しめます。

そこでかわいいバレリーナが踊ってしまして
目の保養になりました。

またバレエはロシアですがそういったロシアと韓国の関係も
あるのかも？とか。

(写真付き PDF)

【韓国に着いたら空港でバレリーナが踊っていた】

(台湾の空港では「怪しいロボット」が働いていた)

⇒ http://fxgod.net/pdf/korea_taiwan.pdf

【解説】 たぶんこれから孫正義の話が増える。

世界でも日本の孫正義が注目というか警戒されだしている。

彼はどうも「第2のロックフェラー」になりたがっており

さらになんとアリババの大株主で

これから世界の投資家の間でも無視できない存在となっていきそう。

マレーシアでもネットの書き込みで英語で

「SON が GRAB (マレーシアのライドシェアサービス) を買収したら

値上げされてきてる」と話題な彼です。

しかしアリババという価値あるサービスを提供してる

企業の大株主は孫さんでもある。

人間の価値は毛髪の有無ではなく

その中身の脳の強さであるのかもしれない。

PDFレポート

【「ソフトバンクの孫正義氏」と

「アリババ」と「ブロックチェーン」について考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/son_alibaba.pdf

=====**編集後記**=====

さてさて、今日はズバリ

【人間の免疫は「どのように」ウイルスを殺してくれるのか？】

を知って考える！

としました！

一応まず最初にこれは**憲法 21 条言論表現の自由で**
一切保障されてる

ものであって

私なんかは特に今回のコロナなんちゃらで大手マスコミ

新聞、がやたら騒いでその後きつとワクチン売らるんでしようが

やはりこの流れに少し疑問がありまして

だから、「そもそも免疫がどのように普段ウイルスを殺してるのか」

を書きたいと思いました。

私は政治学専門ですが、医学こそ政治学ですから

まあ私自身の経験もあって興味ある分野でもある。

それでまず重要なのが日本の医者って免疫学を勉強していない

のですね。

これが大事で、人間の病気を治せるものは

人間の遺伝子、免疫機構しかないのですが、

薬は病気を治せないわけです。

が、現代人の極めて ヤバすぎる勘違いがあつて

「薬が病気を治す、という勘違い」してるわけですよ。

例えば風邪なんかをひくと熱がでるけど何ですかね。

あれつてのは 免疫細胞なんかの働きが熱が上がると

活発になるので

人間の遺伝子つてのが風邪引くとウイルス殺すために体温あげる

わけですが そうやって人類は生き延びてきたわけです。

が、今の医者つてのはそこで「熱を下げる」わけですが

そこでなんとなく熱だけは解熱剤で下がるものですから、

「治ってる気」になるんだけど

こういう免疫を抑制する薬がもう市販されてる薬のほとんどで

あって

それが製薬会社の（本来資本主義に反する競争が制限された）

独占的販売の株価を支えているわけです。

この大きな政治の構図があって、

実のところ、軍産官僚とかはトランプやキッシンジャーに制圧されたけど

次は、医薬複合体が次の時代の人類の問題になるって

私は考えてるわけです。

実際はそれで風邪を治してるのはウイルス殺してるのは

人間の「天才」である免疫細胞たちなんですね。

そして「その天才はあなたの体内に宿ってる」のです。

本当ですよ。

それで今日は件名で

「どうやって人間の免疫がウイルスを殺すのか」を知るとしました。

一応今号の内容は少し難しくなるかもしれませんが

私が以下の内容を医者にしても医者たちも分からなかったりする

人が結構いるから、

「なんとなく」分かればよいくらいで書いてます。

ナチュラルキラーT細胞とかアポトーシスとか

リガンド、とか意味不明かもしれない言葉も出てきますが、

まあなんとなく分かれば、という感じで書きます。

それです。人間の歴史があつてウイルスで苦しめられてきたけど

そこでウイルスが細胞に入り込んだときに

どのように人体の免疫が自分の細胞もろとも、ウイルスを殺してきたか？

というのを知る必要がありますね。

この「細胞もろとも」ってのが大事だ。

それで「苦しめられてきた」と過去形で書いてるんだけど

そう、実は遺伝子病とかではなく

通常の遺伝子を持って生まれた人間にとっては

怖いウイルスは本当は存在してないはず、なんですね。

なぜならば普通の正常な免疫がウイルスとの戦いで

負けてしまうような

「激強ウイルス」っているけどそこは

本来子供の時に前もってワクチンを投与して

そして本物のウイルスが入ってきたときに

I g G 抗体ができる準備をほぼ強制的にされてるもので

本来はもう人類はほとんど怖いウイルスもなくなってしまった

わけです。

どこかの研究所が遺伝子をいじくって新しい

ウイルスを作り出してるなら別ですが・・・

それで医薬業界はインフルエンザ怖い怖い

最近だとインフルエンザC型と同じでしょうが

新型コロナ怖い怖いやってますが

本当は、インフルエンザだったりコロナだったり

を怖がるのは

例えばステロイドみたいな免疫抑制剤を普段から

投与されてる人、なんですね。

私の場合結構のんきなのは私の場合薬を飲んでいないから

免疫抑制剤を体に入れていないから

すなわち「免疫抑制剤」ってのは

「免疫を 抑制 する薬」だけど

免疫が弱くなっていないからまあなんとかなるでしょ

というスタンスでいるわけです。

ただこれは普段からステロイドなりの

免疫抑制剤、それはステロイドだけではなく

大体の医者が処方する薬は抗生物質なんか以外は

免疫抑制剤だったりするけど

それを飲んでる人は、こう免疫が落ちてますから

あとは抗癌剤なんかを投与されてるがん患者なんかも

これ免疫が相当落ちてますから

こういう人たちはやはりウイルスを怖がるのは

妥当だと思います。

ただ大体の人はこういう免疫抑制剤を毎日飲んでるわけでもなく

正常な免疫機構、免疫細胞の働きが維持できてるわけだから

だから製薬会社が売り上げ伸ばす

インフルエンザワクチンとかは

本来いらないわけですよ。

正常な免疫持ってる人なら、私の場合もインフル以前かかったけど

私の場合は普通に温かいコーラ飲んで寝て、

それで自動的に食欲がなくなって空腹になって

免疫が戦ってくれましたが

やはり正常免疫あればなんとかなる人が極めて多いんでしょう。

だからそのとき、お腹の脂肪が

食べない代わりにエネルギー源で利用されるわけであって

年齢を重ねると腹が出るのは、加齢で免疫細胞の力が弱まるから

上記のようにウイルスなどと戦うときのエネルギー源として

人体に貯蓄されるのは当然のことでもありますよね。

ここで、よく芸能人を見てると

痩せてるがん患者が死にやすくて

脂肪つけてるがん患者は結構生き残ってる

なんてのはこれは偶然ではないでしょう。

それで人類は正常な免疫があればこれ

大体のケースでウイルスを退治できるのですが

今回結構コロナで注目だったのは

「大多数の死者が何かしら別の病気にかかっていた」

というのが報じられているけど

それは私なんかは

「他の病気にかかっていた = 免疫抑制剤投与されていた」

ってことにその人が医者に行かない人でない限り、

自動的に現代医療ではなりますから

だから免疫機構が弱ってる人ほど亡くなっているんだ

ということですよね。

ただ一応人類はウイルスをなんとかしたはずだけど

しかし唯一人類が倒せないウイルスがあって

これが実はヘルペスウイルスなんですよ。

このヘルペスウイルスは神経節に住んでいる

ある種「ウイルスのボス、天才」なんだけど

もう神経節に住んでるものだから

そこで免疫細胞もこの神経節を攻撃できないわけですよ。

だって人体の神経が攻撃されたら

人体もダメになってしまうから。

だからヘルペスウイルスってのがこれからの人類の

最大の課題になるのは間違いない。

だからヘルペスなんかは免疫から逃れるある種の

テクニックを持ってるわけですが

だから結局 風邪なりインフルなりコロナのウイルスの話を

すると

自動的にヘルペスウイルスの対処とかの話になる

わけですよ。

それで今号ではナチュラル・キラーT細胞（NK細胞）と

キラーT細胞

の話をもとめておきたいと思いますが

人間の免疫機構の中で極めて重要な役割を果たしているのが

これらの細胞ですね。

ちなみに上記の

ナチュラル・キラーT細胞（NK細胞）と

キラーT細胞

は、これ似てる名前だけど、違うものです。

それでナチュラルキラー T 細胞ってのは

(先天免疫である

好中球とか大食細胞ってのがあるんだけど

それとは違った)

幹細胞 (かんさいぼう) から生まれるんですね。

この幹細胞はいわば「細胞のお母さん」みたいなもので

細胞を生んでくれる。

それでナチュラルキラー細胞を NK 細胞とも言いますが

この NK 細胞ってのは よく免疫で言われる

リンパ球系の「Tリンパ球」とか「Bリンパ球」の仲間の細胞

なんですが

このリンパ球と「最も異なる点」がこのNK細胞には

ある。

というのは人体のそれこそあなたの体の中には

好中球（こうちゅうきゅう）とか大食細胞ってのがあ

異物と認識したらこれらはすぐに食べて殺してしまう。

それでNK細胞ってのは「天才 免疫細胞」であるけど

こいつは異物を見つけたらすぐに食べて殺そうとするのですが

しかしこのNK細胞は「こいつは殺してよい敵かどうか」

を上記の幹細胞で生まれたときから備えている

ある種の「免疫細胞の中でも天才」なんですね。

それがあなたの体の中にいるから生きているわけで

人体って面白いですね。

それで言い換えるとNK細胞ってのは

「自分の仲間は殺さないで、人体にとっての敵（異物）だけ

殺す」のですが

ある意味 腕の立つスナイパーみたいなものです。

ちなみに自分の仲間ってのはどう認識してるかっていうと

クラスI MHCってのを持ってる細胞があるんだけど

これは分かりやすく書くと「仲間マーク」だ。

NK細胞はこのクラスI MHCっていう「仲間マーク」を発見したら

その細胞は殺さない。

それでNK細胞ってのはあくまでも

特別な炭水化物であったり、タンパクを表面に持ってる細胞

ってのがあるんだけど

そういう細胞だけ殺すんです。

だからこれは具体的にどういうことか？っていうと

あなたが何かしら感染したら

細胞自体がウイルスや細菌や寄生虫なんかに感染したり

もしくはがん細胞になったりするけど

その断片を表面に出している細胞だけを殺すってのが

NK細胞の仕事ですよ。

それで「じゃあどうNK細胞はウイルスなりを殺しているか？」

ですが

これは実は2種類の殺し方がある。

なんかNK細胞怖いですね。けど

あなたの体の中にも私の体の中にも存在していて

私たちの健康をウイルスや細菌などから守ってくれてるのですよ。

それでこのNK細胞の2種類の細胞の殺し方があるんだけど

いずれも「細胞を自殺させる」んです。

これはNK細胞がウイルスなりに感染してる細胞、敵を見つけたら

そいつにタンパクと酵素を混ぜたものを細胞に

注入しちゃうんです。

(タンパクがパーフォリンで、酵素がグランザイムBというもの)

それでまずタンパクのパーフォリンってのが細胞の膜に

引っ付くんだけど、

細胞に穴をあけて入り口を作る。

そしてこうした細胞に入り込んで自殺させる酵素であるのが

上の () で書いてる酵素のグランザイム B なんだけど

これが細胞の細胞質に放出されるんですよ。

それでその細胞がある種の自殺をするように

これまたカスパーゼっていう酵素があるけど

これが一気に活性化で元気になるんですね。

そうするとですね、このウイルスなりに感染した

細胞が自分自身の持つてる酵素である

カスパーゼによって「自分で崩壊」しちゃうんです。

だからこれは免疫学なんかでは細胞自殺とか言うんだけど

一応英語だと

聞いたことある人もいるかもだけど

「アポトーシス」とか言いますね。

それで2つめのNK細胞の何かしら感染しちゃった細胞を

殺す方法も同じで、

NK細胞の上にタンパクがあるんですね。

Fas リガンドっていう。

それでこのタンパクが「敵の細胞」の表面に

出ている FASプロテインってものと

結びつくんだけど

ここで結びつくと・・・そう、やっぱり

上記カスパーゼっていう酵素が連鎖で活性化されて

そんでやっぱり細胞の自殺であるアポトーシスが

起こる。

こうやって、ウイルスってのは殺されるわけですね。

それでここで疑問です。

「なんでアポトーシスで「感染した細胞全体を自殺に

追い込むことをNK細胞はするのか」」です。

これが実はすごい大事なことで ウイルスそのものを

殺すわけではなくて

ウイルスは細胞に入り込むんだけど

NK 細胞ってのはウイルスが入った細胞そのもの

をアポトーシス（細胞自殺）させるんですね。

というのはやっぱりウイルスは頼み込んでも降伏してくれない

から、

だからウイルスに勝つためにこういう

NK 細胞を人体が持つことになった。

ちなみにウイルスってのは遺伝子しかありませんね。

これはたぶん学校で習ったんじゃないでしょうか？

だから遺伝子しかないんですから

人間の細胞に入り込んで、増殖するための素材を

生きた細胞からしか得られないのがウイルス。

だからウイルスってのは遺伝子しかないんですから

生きた細胞に入り込むことでしか

生き続けることができないんです。

だからそこでNK細胞は「細胞自体をアポトーシス」

(自分で死ぬように仕向ける)

させるんですね。

それでこのNK細胞がすごいのは

「ちゃんと自分の仲間の細胞は殺さない」ことであって

「ウイルスが隠れてる細胞だけに死んでもらう」という

のがNK細胞であって

こんな強力な免疫システムを人間は

持ってしまったるわけです。

免疫学を学ぶと・・・一体誰がこんな優れた

人体を作ったのだ？とどうしても思ってしまう。

進化論では説明むずいのかなと。

それで、上でNK細胞がどのように私やあなたの

体内で頑張ってくれてるか？を書いたけど

あとはもう一つウイルスを殺す方法を持つてる細胞がこれ

上のほうに書いてる

「キラーT細胞」というリンパ球です。

それでこのキラーT細胞はリンパ球であって

NK細胞とは違いますが

ただ 細胞に入り込んだウイルスを殺す方法は

NK細胞と同じなんです。

上にNK細胞のときに書いた

パーフォリンとかグランザイム B を使う殺し方と

FAS リガンドと FAS タンパクを使う殺し方で同じ。

それで「なぜじゃあ 2 つあるのか？」です。

これはちゃんと「まるで誰かが人間を作成するときに

意図したか」のようにちゃんと理由があつて

まずキラー T 細胞ってのは必ず 樹枝状 (じゅしじょう) 細胞に

「キラー T 細胞さん！

こいつが敵です！」と

教えてもらわないといけないんですね。

具体的には、殺すべき細胞のMHC I ってのがあって

それと結ぶついたウイルスのペプチドを

キラーT細胞は認識して、ようやくウイルスが入り込んだ

細胞との戦いに入る。

だからまあ「遅い」ですよ。

自分では敵が判別できない。

けどNKキラー細胞は「天才」であるから

そんな必要がなくて

上記のキラーT細胞よりもNKキラー細胞のほうが

「早く」 殺してしまう。

それなのでこの

「ナチュラルキラー細胞、NK細胞」ってのは

だからすごい細胞なんだけど

ここで やはり人類に最後に残されたヘルペスウイルスですが

これは何も目に見える性器ヘルペスとか

そんな話だけではない。

神経に関わる全ての症状を出すのがヘルペスの怖いところで

分かりやすいところだと顔面麻痺なんかもそれだ

とわかってきてますよね。

あとは頭痛やらもアルツハイマーもそうでしょう。

それでヘルペスウイルスは8種類あるんだけど

例えばヘルペスウイルスの「ずる賢さ」ってのは

上に書いたキラーT細胞に殺されないように

例えばキラーT細胞はMHC Iとウイルスのペプチドが

結びつかないと戦いに入れないけど

ヘルペスウイルスはこの MHC I と結びつくことさえない。

だからここで もし人類の免疫にキラーT細胞しかなければ

おそらくヘルペスウイルスは増殖を極めて

神経節に閉じ込めることはできず

国民総鬱病になって、そんで国民総神経痛、

国民総アルツハイマー、国民総偏頭痛

になってしまっていたかもしれない。

それくらいヘルペスってのは世界中で様々な症状の

原因とわかってきてるけど

これを殺せるのがそう、

ナチュラルキラーT細胞です。

それで「なんで新型コロナウイルスなんかでは

以前に持病がある人ばかりが死んでいくか」

というとやはり上記のような免疫細胞があるんだけど

それが機能していないタイプの人、弱ってる人ってのが

上記の免疫の細胞レベルまで理解していない医者なんかは

よく免疫抑制剤儲かるから処方するけど

そこで免疫が下がっていて

上記 NK 細胞やあとは、キラー T 細胞なんか働いていない人

っているんですね。

この人たちがコロナウイルスに負けたってことだろうと

私は見てます。

逆を言うと、そういう免疫抑制剤で薬漬けになっていない人の

ほうが多いでしょうが

そういう人はまさに上記のような

恐ろしいくらい強力な免疫細胞を体の中に持つてゐるわけで

あなたもその免疫細胞を持つてゐるんだけど

だから本当はこの「免疫細胞こそが医者」なんです。

人体の中に医者はいる。

だから大事なものは、こうやたら

落ち込んだり、怒ったりして免疫下げないとか

あとは体温上げるとか、

私は韓国にいるけど 色合いが良い野菜の食事食べて

医食同源心がけるとかになりますよね。

あとは人間が口に入れて使えるものとしたら

やはり私は海外にいて色々見てきたけど

結局これは 漢方しかないんですね。

これを発見したのが古代の中国の人らの

すごいところだけど

結局漢方なりを駆使して

上記のNK細胞やキラーT細胞などを

スムーズに働くようにするってことが

大事なんでしょう。

が、不思議とそういう話が出ないのは不思議なものです。

最近の報道は

まるでこれからワクチンできたぞーって言って

ワクチン販売して製薬会社が大もうけするための

前フリのように私は感じてしまう。

ちなみに上の内容を理解できてしまう

あなたは気づくだろうけど

上の内容を書くのは大変勇気のいることで

というのが上の内容ってのはもろに

製薬会社や、あとは厚生労働省官僚や

医師会などの「患者を不健康にして儲ける

腐ったビジネスモデルの利権」に抵触するため

上記のことを理解してる日本人もいるけど

なかなかいえないことなんです。

やはり「本当のこと言ったら潰してやる」なわけで

実は恐ろしい世界なのです。

これは日本だけじゃなくて韓国もおそらくそうです。

が、やはり私の場合、上記の関連で弟死んでるし

また自分も相当この「嘘医療」に苦しんできた過去が

ある製薬会社や厚労省官僚や医師会の癒着によって

作られた「病気が治らない免疫抑制剤主体の治療法」

被害者なので

やはり勉強時間がすごい増えたため

それこそ日々遊んでる医者より勉強するようになったため
上記のようなことも勉強して知ることになったわけですね。

やはり憲法 21 条言論表現の自由は「一切」保障されるべきだ。



インフルエンザとは何か



それでじゃあインフルエンザとは何か？も考えましょう。

というのはいまや日本も韓国も

「コロナコロナ」言ってるんですが

あれは「中国型じゃないと」あそこまで

大きく報道されないんですね。

これを誰も言いませんが政治学学んでる人間は気づいてる。

私は哲学の最高峰が政治学だけどそれを専攻してる人間だから

分かってる。

それで日本国内の報道はこれ

以前国連 P 5 の話を書いたけど ここで

今までは

アメリカ、フランス、イギリス

VS

中国、ロシア

で国連は壊されていたけど

ここで「冷戦構造はもうやめましょう。5カ国で

首脳会談を2020年にはして国連の時代を開始しよう」って

内容を、プーチンが言った。

ここで中国のコロナうんぬんがマスコミで狂ったように

流されてることに「おかしさ」を感じないのであれば

その人は洗脳完了してるわけです。

ちなみに私が気づいたのは韓国のおばちゃんは

結構テレビの影響受けやすい。

が、重要なのが アメリカのインフルエンザは例えば

感染者が1500万人おりまして、

そして入院患者は14万人いて

死者は8200人以上、

なんですね。

それ聞いたら「え？コロナよりインフルやばくね？」となるけど

すなわち「パンデミック騒動の恐怖」ってのは

マスコミがいくらでも作り出せる。

最近これを指摘する人が出てきたから

必死に「火消し記事」をマスコミはやりだして

気づくのが早い人は「なんかおかしいな～」と思ってる

わけですね。

まあ私もそれなんだけど。

だから本当はコロナウイルスの新型よりも

私たちってインフルエンザのほうが怖いってのが

ぶっちゃけあると思うんですが

まずこのコロナとかも

ここまで報道しちゃったんだから

やはり私たちはまずインフルエンザを「なんとなく」

じゃなくて

「遺伝子の話で」理解する必要があります。

だから、考えましょう。

まずインフルエンザウイルスってのはこれ

他のウイルスと違いがあり

まず他のウイルスってのは遺伝子はDNA なんですね。

けどインフルエンザウイルスってのはなんと

遺伝子がRNA なんです。

ちなみに RNA を遺伝子に持つて医学的に

重要なウイルスってのはこれ

麻疹（はしか）ウイルスと

あとはC型肝炎ウイルスと

エイズのこれHIVです。

だからまあコロナウイルスの関係で

中国の医者が HIV 治療で使ってる薬を投与って

報じられてると思いますが

それはインフルは RNA を遺伝子にもつウイルスだからです。

それでじゃあ 「インフルエンザみたいな

RNA ウイルスって他の DNA ウイルスとどう違うの？」

って話になるんだけど

やはり「変化速度」なんですね。これは。

だから他の DNA ウイルスと違ってはるかに変化速度が

早いのが

これインフルなどのRNA 遺伝子ウイルスです。

だからこれどういうことか？というと

「インフルエンザなんかのウイルスってのは

RNA 遺伝子のウイルスなんですから

毎年毎年ウイルスが絶えず変異してるから

ワクチン作っても ワクチンは変異ウイルスには

効きませんから

インフルエンザウイルスに効かない」

ってことになりますよね。

なんか 日本の医者たちを見ると

「インフルエンザになったらワクチンだ」とか

よく言いますが、

周りに「インフルエンザワクチン受けてるやつが

インフルになった」ってよくありません？

私の自営業の友人たちはみな言う。

がこれは RNA 遺伝子がインフルなんだから

変化速度が速いため当たり前なんですね。

が、日本の医者「インフルワクチンを～」というわけで

だから RNA 遺伝子のこととかあまり理解していない

というのは分かりますね。

まあただその代わり製薬会社の営業利益は上がるでしょう。

それで普通の風邪、感冒ってのはウイルスは数多くて、

全ての風邪ウイルスにワクチン打つのは不可能ですから

だから結局私たちってのは本来は幼児期に

風邪を子供同士で移しあって、

そんで強力な免疫を身につけていくものですね。

だからインフルに関しても、インフルにかかった人で

そこで免疫を落とすような薬剤などを飲まないで

ちゃんと自分の「正常な」免疫で治す人なんかは

強力な抗体ができるから、

だから同じインフルに対しては何年も同じインフルウイルスに

大しては 抗体があるから

同じインフルエンザにはならないと。

だから風邪というけどこれは普通感冒でもあるけど

普通感冒とかインフルなんかは

免疫作ってるときに 免疫を邪魔する解熱剤使ったり

症状がひどいからといってステロイドを使うと

大変になってしまうわけですね。

ここで免疫がつかないどころか

インフルエンザウイルスが呼吸器粘膜に増殖するはずで

そうすると肺炎になって死ぬ人が増える。

だから本当の調査があるならば、ですが

(実際は絶対に医療関係者は調査しないけど)

「インフルエンザやまたはコロナウイルスの死者の中で

どれくらいの人が免疫抑制剤を使っていたか」

を調査すべきで

これを調査したら ほとんどの死者が

実際は免疫抑制剤を使っていたとか見えてくるかもしれない。
その可能性が高い、と私は言論表現の自由を行使して言います。

ちなみに免疫細胞のある種の強さは加齢すると

弱くなるからやはり高齢な人は肺炎などに負けてしまうケースも

あるでしょうね。

それでなぜインフルエンザのワクチンがいらないか？

ってのはこれは実はもう英語圏でかなり議論されだしてる

ところですが

まず最初に普通感冒の風邪ってのは何か？ですよ。

風邪ってのは上気道があってそれに取り付くウイルスを

粘膜の免疫が

「そのウイルスを排除するために」

炎症を起こさせるんです。

だから炎症ってのはこれ免疫反応だから

抗炎症って言葉があるけど

実はこの抗炎症って考え方は

免疫学と反するんでしょう。

私は免疫学のほうが重要であるという言論、思想の立場です。

それで炎症が起こって、

水分が多量に流出して、

そして粘膜組織の細胞が上で書いた

アポトーシス=細胞の自殺

を起こすんだけど

ここで粘膜そのものの破壊はしないんですね。

だから、そこでちょっと難しいかもだけど

粘膜免疫の抗体である IgA っていうのがあって

これがウイルスと結びつくんだけど、

そこで粘膜からウイルスを排除しようとして

粘液が流出して、

そこでまた IgG が作られて、それで粘膜組織の細胞が

これもまたアポトーシスして、

細胞に感染したウイルスもろとも

排除するって機能が人間にはあるんです。

だからここで 粘膜組織そのものは破壊されない

ってことですね。

人間の免疫はよく出来ている。

だから風邪になるとこれ

「咳き」が出るし、あとは

「下痢」になるし、

「汗」も出るけど

これは面白いことで「外に排出する」という

大きな免疫の力が働いてるのが免疫学勉強すると

わかってくる人間の神秘です。

けどウイルスをこう細胞ごとに排除はするんだけど

けど粘膜組織自体は破壊されないように

免疫ってのは動くわけで人間ってすごいんですね。

それで例えば風邪の症状を起こすウイルスがこれ

鼻の粘膜辺りの炎症になるとこれは

ライノウイルスと、RSウイルスと

あとは話題のコロナウイルスでありますね。

また喉の風邪はこれアデノウイルスやコクサッキーウイルス

、パラインフルエンザウイルスであって

あとは気管支の風邪が、アデノウイルスやパラインフルエンザウイルス

のほかには

マイコプラズマだったりクラミジアであると。

それでじゃあ、インフルエンザが特に普通感冒の中で

特別扱いされる理由ってのが

鼻汁や咳などの上気道や下気道の炎症症状ってのは

普通の風邪のように出るけどそれ以外に

高熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛

などの全身症状が、他の風邪の症状よりも目立つってのが

これインフルですよ。

インフルになるととりあえず痛いってあります。

ちなみにこれが実はヘルペスウイルスとの戦いで

生じてるものなんです

だから本当は 感染症のエキスパートを自称する

医学研究者っているけど

それはヘルペスウイルスを論じないと片手落ちでしょう。

っていうのが実は上の高熱以外の

倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛ってのが神経症状ですが

これはどう見ても、

インフルエンザとの闘いが始まると

人体では上記のNK細胞とかキラーT細胞が

活性化されて

ほとんど全ての人の神経細胞に住み着くヘルペスウイルスも

殺そうとするわけだから

だからそれに伴って倦怠感や頭痛、筋肉痛や関節痛が

出ると考えるのは極めて自然なことです。

が、これを言う人ってほとんどいないわけですね。

不思議なものです。

それでインフルエンザにはこれ抗原性によって

「A型」「B型」「C型」ってのがあんだけど

まず A型が一番やばかったけど

1918年あたりのスペイン風邪なんかは

すごかった。

死者が5000万人近く出たんですね。

だから A 型のインフルの場合は結構やばくて

上記の RNA の遺伝子の変異しやすいから

流行が起これば何回もかかる。

ただ最近はこれ衛生状態や栄養状態がよくなって

免疫にとって強い状態が作られてるから

この数十年は大流行は見られないですね。

あとは B 型がありますが B 型のウイルスはこれ

A 型ウイルスに似てるけど

A 型ウイルスほど B 型は変異しない。

だからこの B 型に関しては一度 B 型インフルなんかで

感染して免疫使って治っていくわけですが

そうすると免疫がついて二度とかからなくなる

わけですね。

それで実は今回のコロナウイルスってすごい騒がれてますが

これがC型インフルエンザと基本的に同じでして

このC型のことを最後に書きたかったんだけど

C型ってのはいわば風邪と同じで

すなわち普通感冒のようなものです。

だから本来、ライノウイルスとコロナウイルスってのは

C型インフルエンザと同じですが

これは本来病原性も弱くて自分の免疫で簡単に

治せるものですが

ただ免疫抑制剤のステロイドを代表とする

薬剤なんかを投与したらそれはその人は免疫が弱るから

肺炎なんかを除去できないで 死んでしまうんでしょう。

本来は免疫を上げるために西洋医学の薬では

意味がないから

漢方薬（煎じ薬）なんかを処方するってことを

普通はするはずなのに・・・

って私は思っていたけど

なぜか今の医療業界ってのは不思議なもので

C型インフルと同じような対処すればいいのにしない

謎があります。

騒ぐことで得をする誰か、がいるのでしょうか。

不思議すぎます。

それで今回はC型インフルのようなコロナですから私なんかは

インフルのほうが人死んでるし・・・とか思って

見ていたのですが

ただもしこれが A 型のものがいつか流行したら・・・

これは本気で少しやばいわけですね。

今回は違うけど。

ただ A 型インフルってのは人間と豚とアヒルと一緒に

生活する、みたいな生活様式がなければ

変異として出てきませんが

ただこういうのを本当に実験でやってば撒く人も

いないわけではないでしょうから

そういうのは気をつけたいところ。

いずれにしても上に書いたように、

私たち人間にはかなり優秀な免疫機構、免疫細胞が

あるわけですので

それらが正常に働くように

免疫が強くなるように生活するほうが大事なんでしょう。

そして免疫をあげるために人類が持ってるツールってのが

実は漢方くらいなんで

あとは医食同源の考え方あたりですが

そこまで選択肢は多くもないですから

この免疫細胞がより活性化する生活なんかを

調べていくのは大事そうです。

ということで今回は憲法 21 条言論表現の自由を元に、

こういう遺伝子の話とか細胞の話とかまで

書きましたが

いずれにしても私たち人間って

こういうすごい免疫機構、免疫細胞があるわけですね。

ちなみに上記の話は多くの医者に聞いてみれば

分かりますが、知らないものなんですが、

そして場合によっては自分が知らないのを逆切れしてきますが

逆にこういうのをちゃんと免疫学で説明できるかどうか？

ってのが本当に良い医者

私たち民衆が探すフィルターになるかも。

まあそれで最後に書きたいのは

上記のような人間の免疫機構を理解して

あとはインフルエンザやコロナウイルスの特性を把握して

こういうニュースに接するのと、

そうじゃない事前知識がない人が接するのだと

ずいぶん違いが生じるってことですね。

後者はパニックになる、大体。

だからニュースが報じればいつでも

パンデミックっぽい雰囲気、を作れるわけですね。

あと前者の人に関しては

「このウイルスに関しては自分は騒ぐ対象だろうか？」

免疫抑制剤で免疫が弱ってたら気をつけたいけど

そうじゃないなら自分は正常免疫があるから

まあ免疫で戦えるな」

くらいは考えますよね。

この辺は人によって状態は違うから

捉え方は違うのでしょうか。

だから知らないって怖いことですけど

逆に知ってれば冷静にいられたりもするので

やはり今の時代、知識って冷静さを保つためには大事ですね。

あとはそんな中で勝ったのが

もうこの事態で最初に株仕込んでいた冷静さを持っていた

投資家と

あとはマスクを安いときに買い付けていた

準投資家の転売ヤーだと思います。

ということで私たちは常に体内に素晴らしい医者である

遺伝子、免疫細胞を持つてるわけなので

それを強く維持して、

それを理解して強く強く、

為政者やマスメディアに

騙されないように生きたいものですね。

それでは！

追伸・・・それで私が思うのが

日本でも韓国でもそうなんだけど

上のような「どのようにしてウイルスは免疫細胞に

殺されるか」とか

「インフルエンザの種類とかコロナってのが何なのか」

とかその辺が論じられない謎はありますよね。

「コロナが危ない～きゃあ～逃げろ～うわ～」みたいな
感じですよ。

そう、ハリウッド映画の「パンデミック系」の映画の通りに

大衆は動くのに気づくと思う。

これは日本だけじゃなくて韓国もそうなんです。

実のところ映画ってのはプロパガンダ道具であるから

すごいプロパガンダが機能していると私は見ている。

それで思想分析すると大体「反中」の人が騒いでる。

だからこれはパンデミックを装った政治の動きである

と私は実は見ておまして、

それもあってかなりきな臭いと思っているわけで

私なんかは国連が冷戦で軍産官僚に

ぶち壊されたのはおかしいという思想で

そこで国連が機能すべきだ、っていう考え方があるから

それを憲法 21 条言論表現の自由を元を書くわけですね。

それで上記に書いてるのが実は免疫学に関しての

話なんだけど

それくらい免疫学の話も隠されてる知識だし、

結局重要な知識は大体隠されてるものです。

が、実は上の免疫学の知識って富裕層の人って

結構知ってたりするんです。

例えば以前に 資産数十億円の村上むね〇ぐさんが

「子供が熱出て解熱剤使う」ことに対して

富裕層はそれをしないみたいな話を私はみたことあるけど

それもやっぱり上の免疫学理解されてるからですね。

それで今の時代はこう免疫学の知識とか「隠されてる」けど

やはりそれは官僚たちが言論統制を続けてきたためであり

それは明確に憲法違反ですね。

憲法を骨抜きにしようっていう官僚たちが

私たちの健康に関する重要な知識でさえ、知られないように画策して

無知状態に置こうとしてる。

やはり憲法 21 条で規定されて、

行政官僚たちへの命令として存在してる

言論表現の自由を人々が理解して

学んで、そして論じていくことが次の時代は大事なのでしょうか。

それでは！